

SCRAP & RECYCLE

2017年度 CSRレポート

～2018年3月実施分

Clean System



CSR Report

限りある資源を大切に 私たちは地域とともに

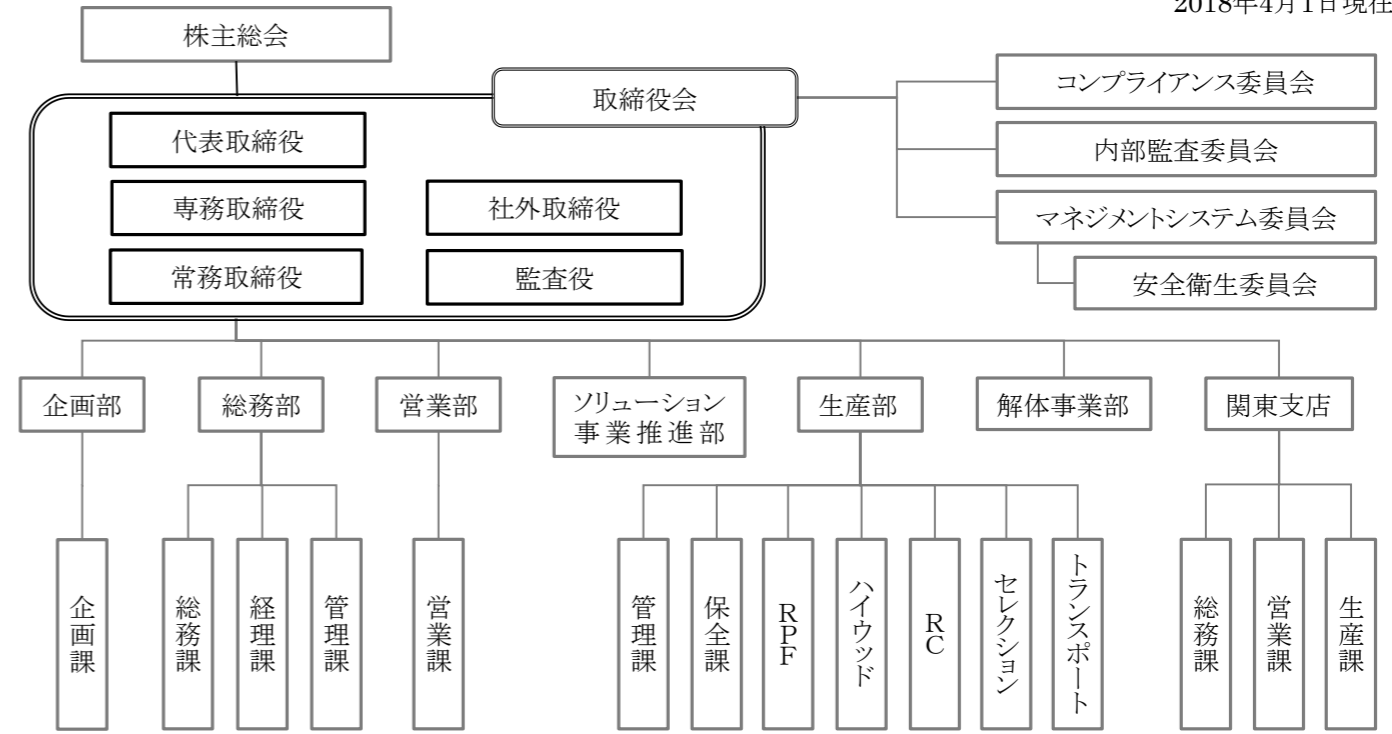


商号	株式会社クリーンシステム (英) Cleansystem Co., Ltd	従業員数	94名 正社員数 (2018年3月31日現在)
代表者	代表取締役 鈴木 隆	所属団体	一般社団法人 山形県産業廃棄物協会 一般社団法人 山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 NPO 北日本木材資源リサイクル協会 一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会
設立	1978年 (昭和53年) 2月		
資本金	1億円		

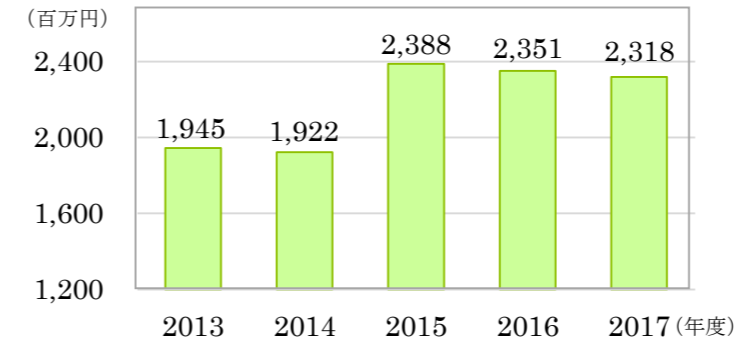
許可内容	【産業廃棄物収集運搬業】 山形県、宮城県、秋田県、岩手県、福島県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、新潟県	【特別管理産業廃棄物収集運搬業】 山形県
	【産業廃棄物処分業】 山形県、柏市	【一般廃棄物処分業】 山形市
	【一般廃棄物収集運搬業】 山形市、中山町、尾花沢市	
	【特定建設業】 山形県知事許可 特-25 第100974号 (土木工事業、とび・土工工事業) 山形県知事許可 特-28 第100974号 (解体工事業)	

組織図

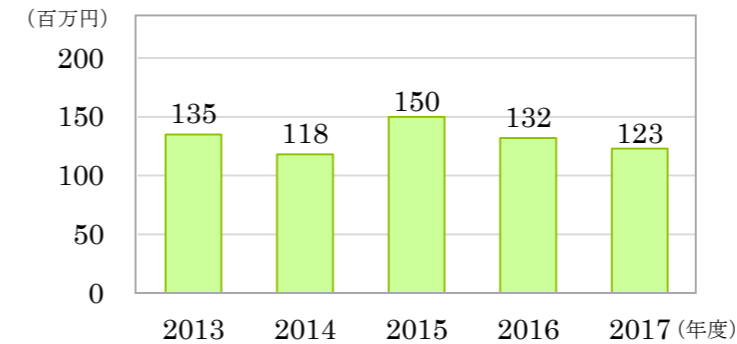
2018年4月1日現在



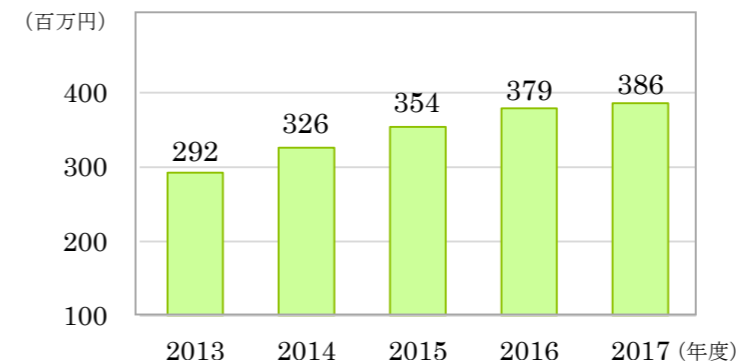
売上高



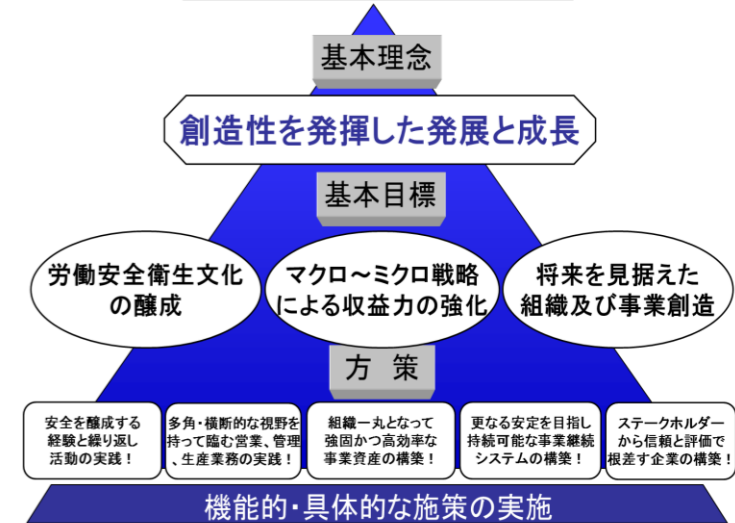
償却前利益



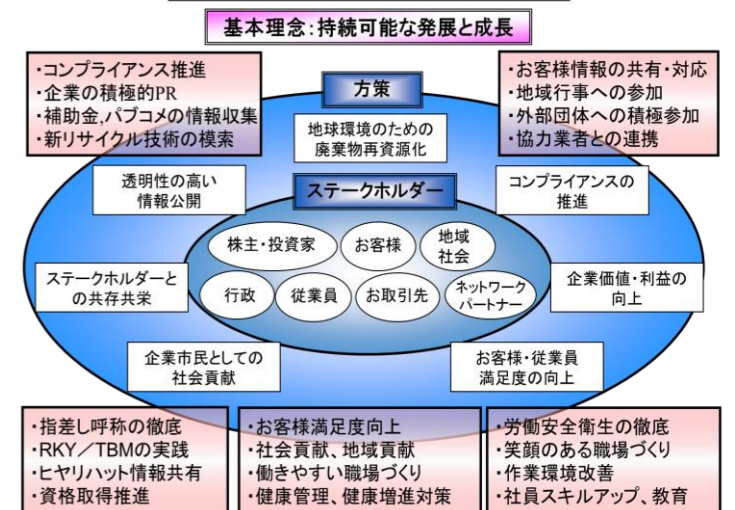
自己資本



2017年度経営方針



2017年度 CSR方針



クリーンシステム

CSR活動の歩み

2011年～ J2リーグ「モンテディオ山形」の正会員に加入

ホームゲームの日は「モンテの日」と定め、窓口職員がユニフォームを着用して盛り上げております。また、2015年より社有車にモンテの装飾を施すなど、地元プロサッカーチームを会社挙げて応援しております。



2011年～ 一般社団法人山形県解体工事業協会が山形県と災害時協定を締結

当社も一会員として、地元自治体との共同防災訓練に参加しております。大地震等の災害発生時は重機を出動し、消防隊の人命救助活動を支援する計画です。



2011年

2012年 東日本大震災に伴う震災がれき(木くず)の受入

隣県同士(山形県と宮城県)の協議により全国で初めて広域処理が実現した事例となりました。また、震災発生直後の2011年4月から現地に人材を派遣するほか、被災地の解体工事を請け負うなど、復興支援活動に従事いたしました。



広域処理1台目の放射線量測定



地元報道陣によるインタビュー

2012年

2012年～ 従業員アイデア提案制度の発足

業務改善・顧客満足度向上・社会貢献等に関する従業員のアイデアを広く採用しております。2017年は新たに13件のアイデアが採用され、累計193件の採用案件を会社の発展・成長へ活かしております。

また、2016年より本制度を拡充。「**がっちりアイデアコンテスト**」と称し、大幅な収益向上に資するアイデアの提案チームに褒賞金を授与する制度を新設しました。

2016年度は1件の採用実績があり、2017年度は2件が審議中です。なお、本制度は社外の方々からのご提案も表彰の対象となっております。われこそはという方、ご応募お待ちしております。



2013年

2013年～ 太陽光発電システム稼働

当社木くず保管ヤードの屋根に太陽光パネルを設置しております。2017年度発電実績は48,226kWhであり、一般家庭約10世帯分の年間消費量に相当します。また、災害等による大規模停電時には当社の太陽光発電システムと小型蓄電池を活用し、地元地域の方々へ電力を提供する旨の協定を2つの自治体と締結しております。



非常時協定調印式
(地元TV局より取材を受ける)



2013年～ 社内報「虹色スマイル」発刊

2017年度までに累計25刊発刊。従業員のコミュニケーションツールのひとつとして活用されており、従業員のご家族にも好評です。



2014年

2014年～ 映画コラボCMの開始

2017年は地元TV局において映画「関ヶ原」「ゴジラ～怪獣惑星～」とのタイアップCMが実現しました。他にも、ラジオCMやローカル紙等にて積極的なPRを行っております。安心してお任せいただける解体工事業者・廃棄物処理業者として、地元にも愛される企業を目指しております。



2014年～ 社内献血活動の実施

会社を挙げたボランティア活動に取り組んでおります。2016年度より献血サポーター団体に登録し、年2回の献血活動を行っており、2017年は年間のべ37名の協力が寄せられました。



2015年～ 安全衛生大会の開催

労働安全衛生意識のさらなる向上を目的として、毎年2月に安全衛生大会を開催しております。2017年度は当社協力会員を含め、総勢約160名が参加しました。当日は安全衛生目標の発表や長期無事故達成者等の表彰、外部講師による安全講話等が行われました。



2015年

2016年～ 女性会議の発足

社業の発展のためには、さらなる女性の活躍が不可欠です。2016年度より女性会議が発足し、女性目線のアイデアがいかに経営に活かされております。また、同年より女性初の管理職も誕生しており、今後も女性の活躍が大いに期待されます。

2016年～ CS救護班の発足

傷病者が発生するリスクに備え、社内救護班を発足しました。救護班員は自ら救護の知識を身につけるのみならず、AEDを始めとした緊急用備品の点検、社内応急救護マニュアルの作成および社内教育を行うなど、万が一の自体に迅速に対応できるように備えております。

救急救護訓練
(避難訓練と併せて実施)



クリーンシステム
救護マニュアル



2017年度

環境活動報告

廃棄物中間処理(リサイクル)事業

私たちは日々廃棄物のリサイクル事業に取り組んでおります。建設工事等より発生する木くず・がれき類は破碎処理を行い、それぞれ木質チップ・RC-40として販売しております。製造業者等より排出される廃プラスチック類・紙くずは減容固化処理を行い、RPFとして販売しております。当社で再生製品にリサイクルできない廃棄物は信頼できる同業者へ処理委託しております。このように、当社では廃棄物処理事業を通して限りある資源の有効利用を推進しております。



産業廃棄物受入量: 48,846t

再生利用量: 39,424t

2017年度トータルリサイクル率: **82.5%**

温室効果ガスの削減実績

燃料チップおよびRPFによるCO₂抑制量(石炭比較)
10,455 t

事業活動によるCO₂発生量
1,533 t

= **CO₂抑制社会貢献量: 8,922 t**

建物解体工事業

木造住宅から大型ビルまで幅広く対応しております。建設業において、2016年より新たに「解体工事業」が業種区分が追加され、当社ではいち早く許可を取得しました。また、解体工事施工技士資格者の在籍者数は21名と山形県内トップであり、安心して工事をお任せいただける解体工事のプロ集団として日々成長を続けております。なお、発生した廃棄物は品目ごとに分別され、クリーンシステムのリサイクル工場にて資源として生まれ変わります。



解体工事の主な実績(2017年度)

山形銀行旧鈴川支店	(山形市五十鈴)
南相馬市応急仮設住宅	(福島県南相馬市)
JAやまがた旧南金井支店	(山形市松原)
山形大学総合研究棟	(山形市小白川)
ニューライフ・サンワ天童店	(天童市久野本)
旧信和研磨剤(株)本社ビル	(東京都大田区蒲田)

廃棄物収集運搬事業・低燃費車の導入

廃棄物の特性やお客様のご要望に合わせて様々な車両を運用しており、2017年3月末現在38台の車両を保有しております。うち12台が平成22年基準排出ガス規制適合車、17台が平成27年度燃費基準達成車となっており、今後導入する車両も環境性能を重視して参ります。



関東支店

千葉県柏市にて破碎・圧縮梱包処理事業を行っており、廃棄物を運搬に適した荷姿に加工しております。東日本エリアにおける廃棄物処理の物流拠点として、広域的な資源循環を支援しております。



3社間パートナーシップ協定

2015年4月に(株)クリーンパワー山形・東北クリーン開発(株)・(株)クリーンシステムの3社間において、東日本エリアにて発生した廃棄物の安全・安心で円滑な適正処理および有効利用を推進し、それぞれの強みを遺憾なく発揮するパートナーシップ協定を締結いたしました。持続可能な循環型社会の構築のため、東日本エリアネットワークの完成を目指しております。

公害防止協定

山形市と当社との間で協定を締結しており、協定にて定められた振動・騒音・臭気・排水の基準を遵守しております。各種測定結果は山形市に報告するほか、当社ホームページ上でも公開しております。

施設見学者の受入

当社のリサイクル工場の見学者を随時受け付けしております。当社のお取引先のみならず、一般の団体および個人の方からも環境学習を目的として見学をお申し込みいただいております。2017年度は、総計63組の見学者を受け入れました。



2017年度

CSR活動報告

一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)

有害物質であるPCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の期限内処理を推進するべく、2017年5月より一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)が発足し、会員企業は全国に広がっております。また、当社代表が発起人の一人として理事を務めており、主に東北地域のPCB全廃を支援しております。



さらに、当社ではPCBに関する事業体制強化等を目的として、2018年4月より新部署「ソリューション事業推進部」を立ち上げました。電気機器(トランス・コンデンサ・安定器等)に含まれるPCBに関するお困りごとを総合的に解決するワンストップサービスを提供いたします。

ペットボトルキャップ・プルタブ等回収活動

2009年より、ペットボトルキャップ・プルタブ・使用済切手・書き損じハガキの回収活動を継続しております。本活動には当社協力会員にもご協力いただいております。2017年には回収物による収益が目標金額に到達。購入した車いすを「小規模特別養護老人ホーム 飯塚なごみの里」様へ寄贈し、その模様を山形新聞にてご紹介いただきました。



身近なところから始められるボランティア活動として、2台目の車いすの寄贈を目標に今後も活動を継続して参ります。

山形県いきいき子育て応援企業 優秀(ダイヤモンド)認定

山形県では、従業員が安心して子育てができる体制を整えている企業に対する認証制度を設けております。当社では2017年度に本制度への申し込みを行い、審査の結果最上位ランクである優秀(ダイヤモンド)認定を受ける運びとなりました。今後も家庭を持つ従業員が働きやすい環境を整備して参ります。



針葉樹種苗事業への参画

近年国策として再生可能エネルギーの普及が進められております。中でも木質バイオマス発電所が全国的に急増しており、その影響により山林の木々の伐採が進行しておりますが、伐採後に新たに植える苗が不足しているという問題があります。



そこで当社では2017年度より、山形県と共同で針葉樹種苗のより良い生育条件を探る研究を開始しました。今年度は研究と並行し、育成した種苗の販売を視野に入れた事業化を進めております。

外国人技能実習生の受入

法務省・厚生省による「外国人技能実習生制度」により、2017年よりタイ国出身の実習生1名を当社にて受け入れております。実習生が当社の解体工事(とび土工事)業務を通じて施工技術を学習する体制を整えており、人材育成を通じた国際貢献に取り組んでおります。

Tポイントサービスの導入

顧客満足度向上を目指す取り組みのひとつとして、当社では2017年よりTポイントサービスを開始しました。サービス対象者は個人のお客様に限定させていただいておりますが、期間限定ポイント10倍サービスなどのキャンペーンを実施しており、ご好評いただいております。今後もお客様にお気軽にご利用いただけるように努力して参ります。



ふるさとの川愛護活動・マイロードサポート事業

当社は2012年より山形県河川愛護活動団体の認証を受けております。河川周辺の清掃活動を毎週実施しており、さらに毎年山形県民河川愛護デーには当社協力会員を含めて100名超の規模にて清掃活動を行っております。

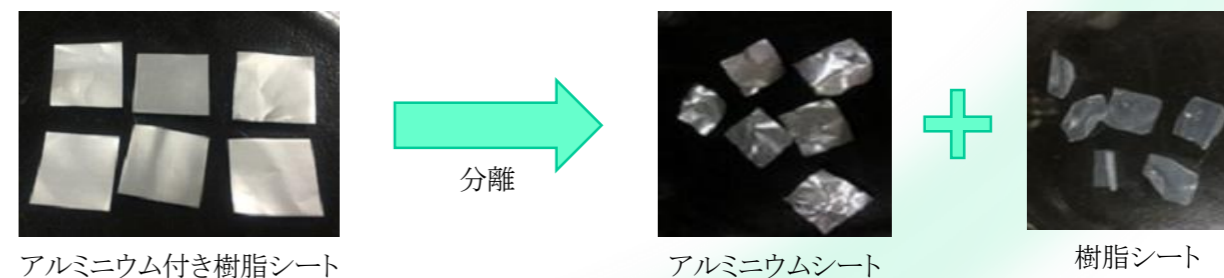
また、本活動のさらなる拡充のため、2017年より山形県のマイロードサポート事業団体に登録。河川周辺のみならず近隣の国道・県道の清掃活動を行っております。



山形大学工学部との共同研究

お菓子や医薬品の包装としてアルミニウムが付与された樹脂シートが使われております。このシートは保温性・遮光性等に優れる一方、固形燃料としてリサイクルした場合にその金属分がボイラー設備に悪影響を与えるため、積極的なサーマルリサイクルは行われておりません。また、マテリアルリサイクルを行うために樹脂分とアルミ分の分離が必要ですが、その分離技術が確立しておらず、ほとんど埋立処分されている状況です。

そこで、当社は樹脂分とアルミ分の分離に関する研究を山形大学と共同で実施しており、2017年度に特許を取得しました。当社では今後も産学官連携を通じ、再資源化に関する技術の追求を進めて参ります。



BCP(事業継続計画)の策定

自然災害を始め、企業として考えられるあらゆるリスクの対応方法および一日でも早い復旧体制を整えるために、BCP(事業継続計画)を策定しております。

緊急災害時に産廃処理業者が機能を停止してしまうと排出事業者の廃棄物が行き場を失い、不適正処理が横行する恐れがあります。BCPを策定することにより、緊急時には企業として可能な限り早期の復旧を行い、社会的責任を全うする所存でございます。

MSプロジェクト (Move Selection Project)

MSプロジェクトとは

クリーンシステム本社工場における廃棄物選別施設移転計画(Move Selection Project)のことで、本計画は2010年より発足しましたが、本社工場の運用改善・設備更新を含めた総合的な検討を進めた結果、選別施設のみならず、本社社屋・RC施設(がれき類破碎施設)・リサイクル製品保管ヤード等も更新する大規模な計画へと発展しております。

当社の本社工場は須川および支流である上の沢川に囲まれております。上の沢川は大雨による増水時に度々氾濫しており、周辺地域の洪水発生の一因となっております。

この度、山形県にて上の沢川の河川改良工事を計画しており、当社としても県の方針に同意する形として本計画が始動しました。計画に伴う各種行政手続きやスケジュール進捗管理等、地元自治体や周辺住民との連携を第一に遂行しております。



CSRステーション(西部工業団地内)

2015年より、山形市西部工業団地内にて約4,800坪の用地を取得し、倉庫および車両・重機基地として運用して参りました。

この度、2017年より本敷地を「CSRステーション」と命名。名前の由来としては、CSR活動による地域貢献の拠点とする意味に加え「クリーンシステム・リサイクル」として資源循環を促進する意味も込められており、新規事業を見据えた運用を行って参ります。



また、2018年5月よりCSRステーションにインタンク(軽油およびガソリンタンク)を建設。7月より運用開始予定であり、当施設により燃料の効率運用が期待されます。また、非常災害時は、微力ながらの地域の方々への燃料供給の支援を検討しております。

新社屋・無散水融雪駐車場の竣工

2016年に本社北側の用地を取得し、2018年4月に新社屋が竣工。5月より本社機能が新社屋へと移転され、さらに快適な環境にてお客様をお迎えしております。また、事務所は全館Wi-fiに対応しており、ペーパーレス化ならびにオフィスのIT化を推進して参ります。



新社屋・無散水融雪駐車場

また、事務所併設の駐車場には地下水を活用した無散水融雪設備を導入しております。本設備導入にあたり補助金(低炭素社会システム整備推進事業)の採択を受けており、重機による除雪作業の削減による温室効果ガスの排出抑制が期待されます。

新RC施設(がれき類破碎施設)

2018年3月、新社屋南方に新たなRC施設(がれき類破碎施設)が竣工しました。本施設は2018年夏頃の運用開始を予定しており、山形県による使用前検査や騒音振動等の各種測定を進めております。



新RC施設

2017年度 その他CSR活動の実績一覧

題目	活動内容
地球環境のための廃棄物再資源化	
選別装置の導入	機械による効率的な選別を行い、さらなるリサイクルを推進いたします。
果樹剪定枝の受入	毎年4月に山形市内の農家を対象に果樹剪定枝の無償受入を実施しております。2017年度は29tの剪定枝が再資源化されました。
温室効果ガスの削減	
山形まるごと COOL CHOICE 事業所	山形市が推進する地球温暖化防止活動に賛同しており、照明のLED化や廃棄物のリサイクル、低燃費車両の導入等を積極的に推進しております。
ステークホルダーとの共存共栄	
芋煮フェスの開催	当社CSRステーションにて県内外合わせて約250名のお客様をお招きし、芋煮をはじめとする山形の郷土料理・地酒を振る舞いました。
受付窓口イベントの実施	お客様受付窓口にて季節イベントを実施し、おもてなしの心でお迎えしております。
地元行事への参加	地元のお祭りや花火大会への協賛、地域の球技大会への参加等を実施しました。
透明性の高い情報公開	
イベントへの出展	2017NEW環境展・やまがた環境展2017へ出展し、環境技術を発信しております。
会社情報の公開	当社ホームページおよび産廃情報ネットにて最新情報を公開しております。
優良産廃処理業者の認定	産業廃棄物処理業の許可を有する9県1市より優良認定を受けております。
企業市民としての社会貢献	
赤十字寄附機能付き自販機の設置	自販機売上の一部を日本赤十字社を通じて寄付しております。
山形市消防団協力事業所認定	地域消防団員は勤務中でも出動できる体制を整えております。
コンプライアンスの推進	
コンプライアンス委員会の運営	法令遵守・社内コンプライアンス体制の管理をしております。
安全パトロールの定期実施	作業現場における危険箇所の早期発見に努めております。
企業価値・利益の向上	
各種広告の実施	J2モンテディオ山形開幕戦広告や山形新聞各種広告(防災特集、imatto、山形市政特集)など、企業PRに積極的に取り組んでおります。
山形いのちの電話団体維持会加入	自殺予防を主な目的として活動する団体へ、その主旨に賛同し維持会員に加盟しております。
各種資格取得の推進	難関資格取得者等へ助成を行っており、従業員のスキルアップを推進しております。
やまがた健康企業宣言事業所登録	従業員の健康づくりのための取り組みを推進しております。
従業員満足度の向上	
保存有給休暇制度の新設	年次有給休暇と合わせて最大80日の有給休暇を取得可能となりました。
社宅管理規程の拡充	雇用の多様化に伴い社宅の対象者を拡充しており、地元以外の出身者および遠隔通勤者が働きやすい職場環境を作っております。
社長と従業員の昼食会	役員と従業員のコミュニケーションを深めるイベントを毎月開催しました。
予防接種費用の補助	全従業員がインフルエンザ等の予防接種を受けており、費用の一部を会社より助成しております。
会社から家族へプレゼント企画	従業員の家族の誕生日に、会社より感謝の意を込めお祝い品を贈りました。
山形美術館の法人会員加入	従業員を対象に、希望者へ美術館フリーパスの貸し出しを行っております。
従業員からの営業情報紹介運動	成約案件の提案者に対して褒賞を行っております。



平成30年度日本遺産「山寺が支えた紅花文化」

山形が誇る文化財群が国内外に広く発信されることとなり、地域活性化が期待されます。
日本遺産への認定、誠におめでとうございます。

「山寺が支えた紅花文化」
日本遺産に認定

平成30年5月25日山形新聞一面より

県内4件目



CLEAN SYSTEM

クリーンシステム

【本社】

〒990-0845
山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5
TEL 023-644-2228
FAX 023-644-7010

【関東支店】

〒277-0804
千葉県柏市新十余二7-8 (十余二工業団地内)
TEL 04-7135-1253
FAX 04-7135-1263

クリーンシステムの情報閲覧はこちらで！
HP <http://www.csyam.com/>



<ホームページ>



<産廃情報ネット>

PC、スマートフォン、iPhoneでご覧ください。